



NPO法人 楽笑  
事務局 佐宗 めぐみ

楽笑は、その名の通り、「誰もが楽しく笑えるまち」をめざしています。

現在、三谷町にて障がいのある方の働き場として、パン工房・駄菓子屋八兵衛と酒屋屋十兵衛(干物屋)を営んでいます。そしてここには、「近所の主婦や団塊世代の働き場・子どものおつかいの場がほしい」という地域のニーズも込められています。

これらのお店は「福祉施設」にあたりませんが、外観は一般のお店と変わらないため、「知らなかった」と驚かれるお客さんも少なくありません。「地域にとけ込んだお店」をめざす楽笑としては、とても嬉しい反応です。

「本当にパン屋できるのか?」と、スタッフも半信半疑だった

ころから、もうすぐ2年が経過としていきます。今では、近所の方がリピーターとなって買いに来たり、保育園児がお買い物体験に来たりするまでになりました。また、地元のお祭りにも出店しています。地域の方と触れあう機会が多くなればなるほど、スタッフみんな笑顔が溢れます。

10月にオープンしたばかりの干物屋では、近所の方以外に、観光客の方が立ち寄ってくれます。オープン時には、さまざまなイベントを行い、大勢の方で賑わいました。干物も1時間で完売することができ、素敵なオープンになりました。

そのほかにも、市の助成を受け、市内の小学生を対象にした「まちづくりイベント」を実施しました。

このように、障がいのある方だけでなく、子どもから大人まで地域の方にも発信していくことで、楽笑の活動を1人でも多くの方に知ってもらえたらと思っています。そして、皆さんのニーズにも耳を傾け、地域のニーズを取り入れたイベントなどを開催し、将来的には一緒に企画や運営をして、地域全体でまちを活性化していけたらと思っています。



図書館 ☎69・3706

### インターネット用パソコンを設置しました

利用者の皆さんがインターネットを使って自由に調べ物をしていただくパソコンを図書館2階に2台設置しました。

#### 【利用方法】

カウンターへ申し込みをした後、ご利用いただけます。(1人1回30分まで)

次にお待ちの方がいなければ、引き続きご利用することも可能です。

その他、詳細はカウンターにお尋ねください。

#### 【開館時間】

午前9時～午後7時



「空白の桶狭間」  
加藤 廣 / 著  
新潮社

今川義元の不気味な触手が尾張へ伸びる。頼みはもはや、秀吉の血統が受け継ぐ秘密のみ。秀吉との密約を容れ、「影の人々」が今川軍団を死地へ誘う。そして奇跡の勝利を手にした後、信長がねつ造した「史実」とは…。歴史ミステリー。

#### 【子ども向け】



「ひみつのカレーライス」  
井上荒野 / 作  
田中清代 / 絵  
アリス館

庭に埋めたカレーの種。やがて芽が出て、お皿の葉っぱに、福神漬けの花が咲き、ライスの実とカレーの実がなつて…。はてさて、そのあとは? 愉快なカレーライスの絵本。